

DP-36868E

(一般屋内用) ・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明

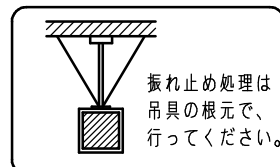
工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意



警告

- 施工は、取扱説明書にしたがい確実に行う。施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。
- 吊具を改造しない。落下の原因となります。
- 傾斜天井・壁面への取り付けはしない。天井取付専用吊具です。落下の原因となります。
- 適合器具以外使用しない。落下の原因となります。
(器具の取扱説明書またはカタログにてお確かめください。)
- 開放廊下等、風の強い所では振れ止め処理を行う。落下の原因となります。
- 電源線の接続後の絶縁は確実に。感電・火災の原因となります。
- 単線とより線の直接接続(ねじり接続等)はしない。必ず専用工具で圧着すること。火災の原因となります。

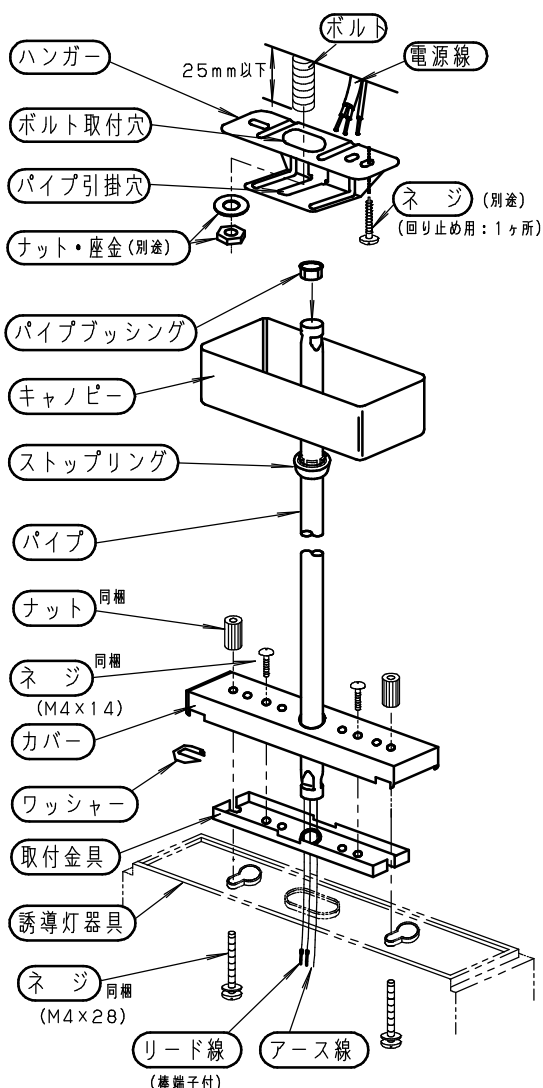


注意

- 直射日光の当たる場所、振動の強い場所、腐食性ガスの発生する場所、屋外では使用しないでください。
落下・感電・火災の原因となります。

※取扱説明書中の図は、一部簡略・抽象化しています。

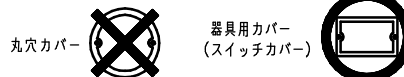
各部のなまえと取付けかた



1. 取付前の確認

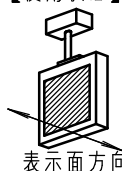
- ・許容荷重 (15kg) に十分耐えるよう取付部の強度を確保する。
不備があると落下の原因となります。
- ・ボックスに取り付ける場合は、ボックス用のカバーをご使用ください。

※丸穴カバーは使用出来ません。

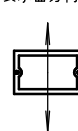


- ・ネジにて取り付けされる場合は、誘導灯の表示面の方向とボックス、カバーの方向が一致しているか確認してください。

【使用状態】



(器具用カバー)
表示面方向

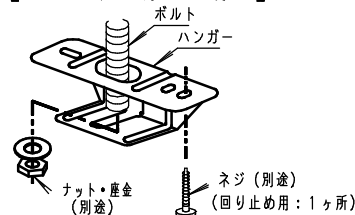


※取付後、表示面方向の回転はできません。

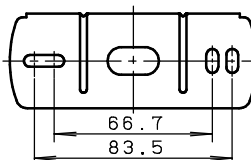
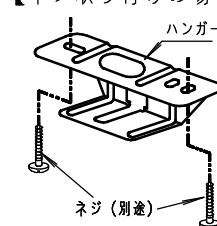
2. ハンガーの取付

- ・ハンガーをボルト (W3/8またはM10) またはビス (別途) にて天井に確実に取付けてください。
不備があると落下の原因となります。

【ボルト取り付けの場合】



【ネジ取り付けの場合】



・66.7と83.5の穴はボックス専用取付穴です。

3. カバー・ワッシャー・取付金具の取付

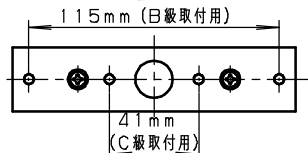
- ・パイプ下端よりカバーを通す。
- ・ワッシャーの溝部分をパイプに挿入する。
- ・抜け防止のためツメを工具で曲げる。
- ・取付金具を図のようにセットし、同梱のネジ (M4×14) で2ヶ所 取付ける。
(取付金具のカーリング部をパイプ穴に合わせてください。)

不備がありますと落下の原因となります。

4. 誘導灯本体の取付

- ・カバーを同梱のネジ (M4×28) ・ナットにて2ヶ所 誘導灯本体に固定する。
- 接合が不完全な場合は火災の原因となります。**
- ・誘導灯器具により、カバーの取付穴が違いますのでご注意ください。

【カバー器具取付寸法】



5. リード線の接続

- ・パイプの天井側 (ハンガー取付側) に同梱のパイプブッシングを取付ける。
- ・パイプブッシングは確実に取付けてください。感電の原因となります。
- ・同梱のリード線の棒端子付きでない側とアース線を誘導灯器具よりパイプに通す。
- ・棒端子付リード線を誘導灯の端子台に接続する。
- 注) LED誘導灯の場合は二次電圧が150V 以下のため、接地 (アース) 不要です。
- ・アース線を誘導灯アース端子に接続する。
(詳細は誘導灯側の取扱説明書参照)

接合が不完全な場合は火災の原因となります。

6. パイプの取付

- ・パイプにストップリングとキャノピーを通す。
- ・ハンガーのパイプ引掛穴にリード線を通した後、パイプを確実に取付ける。
- ・パイプが抜け落ちないことを確認ください。

不備がありますと落下の原因となります。

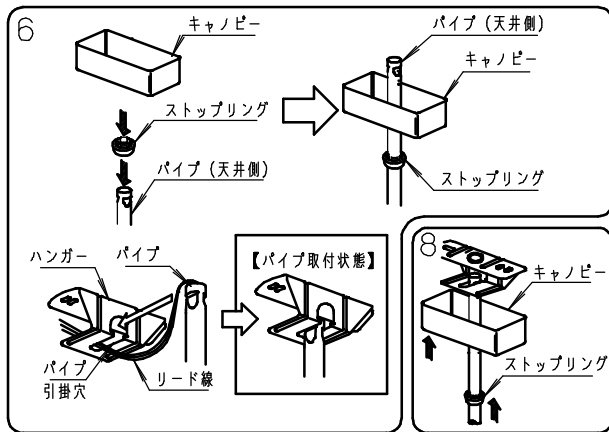
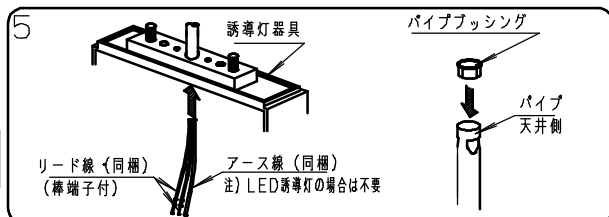
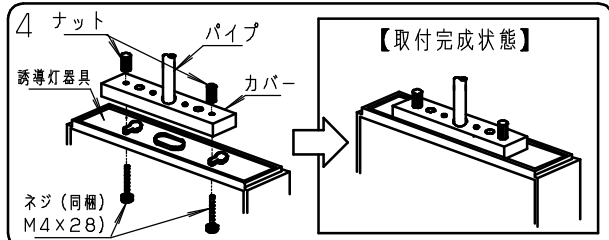
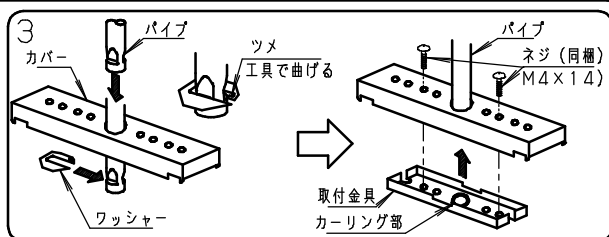
7. 電源線・アース線の接続

- ・電源線・器具口出し線・アース線 (必要に応じて) 接続する。
- ・接続部の絶縁を確実に。D種 (第3種) 接地工事が必要 (LED誘導灯は不要)
- ・口出し線の接続は、電気設備技術基準の省令第7条、および同解釈第12条にしたがうこと。
- ・口出し線の線種：ビニル絶縁電線
- ・電源線の線径：0.75mm² アース線の線径：1.25mm²

警告 接続、保護が不完全な場合、感電・火災の原因となります。

8. キャノピーの取付

- ・キャノピーを天井面に押し当てストップリングにて固定する。



取扱説明

お客様へ、この説明書は必ず保管ください。

・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意



警告

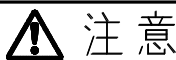
- 吊具を改造しない。感電・火災の原因となります。
- アルカリ系洗剤を使用しない。強度低下による破損の原因となります。



注意

- ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。
- 3～5年に1回は、工事店等の専門家による点検を実施していただき、不具合がありましたら交換してください。

お手入れ



注意 (必ず電源を切って行ってください。感電の原因となります。)

- 吊具の清掃について・・・ ◆水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。変色・変質・強度低下による破損の原因となります。

商品についてのご相談・お問合せ

商品のお問合せ、修理、アフターサービスのご相談は、器具本体に貼付している器具銘板で品番をご確認の上、お買い上げいただきました販売店、工事店、もしくは右記のCSセンターまでご連絡ください。

商品についてのご相談

【CSセンター】 (0570) 003-937 (ナビダイヤル 全国共通)

※受付時間 (月～金曜) 9:00～17:00

土・日・祝日、夏季、年末年始休業日は受付していません。

大光電機株式会社

本社 〒541-0043 大阪市中央区高麗橋3-2-7 高麗橋ビル6F